

WEEKLY

例会場
 ロワジールホテル豊橋 TEL.0532-48-3131
 事務局 豊橋市藤沢町141
 ロワジールホテル豊橋本館9階 926号室
 TEL.0532-35-9973 FAX.0532-39-3743
<http://www.toyohashi-golden-rc.gr.jp>
 email golden@toyohashi-golden-rc.gr.jp

RIメッセージ

地区方針

クラブ方針

フランチエスコ・アレツツォ会長

鈴木康仁ガバナー

神谷馨会長

UNITE FOR GOOD

ともに学び、ともに地域社会に貢献しよう!

 新たな時代へ 理想の未来への挑戦
 環境変化に対応し、より魅力的なロータリークラブへ

第17回(通算1721回)例会報告		令和7年11月7日(金)	ロータリー財団担当例会
出席報告	総会員数60名(計算会員数57名) 欠席9名 出席率84.21% 前々回修正出席率91.23%		
歌/会場	国歌・奉仕の理想	会場: ロワジールホテル豊橋 30F「ル・モン」12:30~	

会長の時間



神谷 馨会長

皆さまこんにちは。明日土曜日より国際ロータリー第2760地区、地区大会が豊川ロータリークラブをホストクラブとして開催されます。初日は会場が穂の国とよはし芸術劇場 PLAT で12:30より行われ、2日目は豊川市総合体育館で10:30より受付となっています。ご参加よろしくお願い致します。

本日はロータリー財団担当例会です。ロータリー財団の目標は、博愛・慈善・教育または人道的という特質を持つ明快かつ効果的なプログラムの促進を通じて様々な国の国民の間に理解と友好的関係を助長することです。財団の標語は「世界でよいことをしよう」(Doing good in the world)です。そして財団の使命としてロータリー財団は、ロータリー会員が人びとの健康状態を改善し、質の高い教育を提供し環境保全に取り組み、貧困を救済することを通じて世界理解、親善、平和を達成できるように支援するとあります。

本日はロータリー財団委員長 西郷 隆治会員より、ロータリー財団を学び活用しようとのテーマでの卓話を楽しみにしております。よろしくお願い致します。

人生の岐路『あの時違う人生を歩んでいたら…』



白井正樹会員

今回は「人生の岐路」という題を頂きました。私の人生には多くの岐路がありましたが、悩みながらもよい決断をしてきた結果に今があると思います。今日は私個人の話ではなく、私が創業したクックマートの大きな岐路について話させていただきます。最近、新聞やネットニュースでご覧になった方もいるかもしれませんが、この度クックマートは、日本を代表する食品スーパーマーケット「ヤオコー」が立ち上げたブルーゾーンホールディングスと資本業務提携を結びました。まさに会社にとっては大きな岐路であります。

まず、お伝えしたいことは今回の決断は「業績好調の中での決断」であるということです。クックマートは地域のお客様に支えていただき、お陰様で今年30周年を迎える年となりました。最新の売上高は360億円に達し、これは東三河最大の小売企業ということになります。このように順調なクックマートですが、3年前、投資ファンドと資本提携を行いました。理由は好調なうちに、次の成長基盤を作りたいと考えたからです。

投資ファンドは期間限定で会社と協働し、その企業を次のステージに導く役割を担っています。こうして3年間事業基盤を整えつつ「次のステージ」をどうすべきかを考えてきました。スーパーマーケットは規模を拡大すると1店、1店が弱くなっていく傾向があります。その「規模拡大」と「個店の魅力」のバランスをどう維持していくか。その答えが、今回のヤオコー・ブルーゾーンHDとの提携でした。

皆さんはヤオコーという食品スーパーをご存じですか。この地域には店がありませんので知らない方も多いかも知れませんが、食品スーパー業界では誰もが知っている企業です。関東を中心に、200店舗を展開し、売上高7300億円、営業利益330億円、時価総額日本一を誇る食品スーパーマーケット企業です。そのヤオコーが、この度、関東以外で初めて手を組んだのがクックマートです。愛知と静岡に12店舗を展開する私たちをパートナーに選んでくれました。これが今、業界で大きなニュー

誕生日祝い

お誕生日おめでとうございます!



井上 穂会員 高瀬啓輔会員

入会記念日祝い

太田和彦会員



スになっています。

ヤオコーが今後目指しているのは、「ローカルスーパーの連合体づくり」です。従来のスーパーマーケットのM&Aは、「全国同じ屋号で統一」が当たり前でした。しかしヤオコーは違います。「地域の個性あるローカルスーパーをそのまま残し、発展させる」ことを目的に10月1日に「ブルーゾーンホールディングス」という新会社を立ち上げました。この新会社をもとに全国の優良ローカルスーパーを集め、全国的なスーパーマーケット連合を作るという構想です。その立ち上げのタイミングにクックマートが参加できたことは、非常に大きな意味があると思います。これはこの3年間の準備期間があったからこそ実現できた提携だと考えています。

さて、これからの10年、食品スーパー業界は更に大きな変化にさらされます。人口減少、競争の激化、原材料の高騰そしてAI、DXの対応など。ローカルスーパーが単独で戦っていくには、いよいよ難しくなって参ります。だからこそ、このようなローカルスーパー連合が意味を持ちます。

クックマートは今回の提携を機に「第二の成長ステージ」へと進みます。「ローカルならではの個性」と「大手のスケールメリット」を掛け合わせたハイブリッドなスーパーになることがローカルチェーンの新しい形になると考えます。クックマートは今後、経営理念であるDELIGHT!(楽しむ・楽しませる!)という独自のカルチャーをより強め、10年で5店舗の出店、売上高500億円規模のスーパーマーケットチェーンを実現したいと考えています。

最後になりますが、私の「人生の岐路」は「会社の岐路」でもあります。今回の決断こそが、これからのクックマートの発展だと考えます。今後ともクックマートへのご支援よろしくお願い致します。



福沢省吾会員

皆さん、今日は。ロータリー歴37年、今年75歳になります福沢です。よろしくお願いします。

与えられたテーマ「人生の岐路」に沿って最近あった人生の岐路にポジティブに向き合った出来事を、ロータリーの恩師である深川純一さんの「例会のスピーチはどのようなテーマであってもロータリーに繋がるように」の教えに則って話ししたいと思います。

内容は「多目的室内施設及び豊橋公園東側エリア整備運営事業」の継続の賛否を問う住民投票です。結果は、ご承知のように、賛成が反対を約2万5千票上回り、事業の継続が決まりました。

この住民投票が何故人生の岐路だったのか。それは豊橋青年会議所が1990年に開催した全国大会に関係があります。全国大会は日常生活では味わえない貴重な体験をすることができ、人生の一ページを飾る良き思い出となりましたが、全国大会の目的は未来の豊橋を活力ある街にするための人づくりでしたので、その意味

では豊橋を全国へ知らしめる一大イベントに終わった感があり、悔いが残る結果となりました。

そんな折り、OSGから、バスケットチームが日本のトップリーグに参戦するので協力して欲しいという要請があり、私は日本のバスケット界のトップリーグへの参戦は社会に前向きな影響を与える継続事業であり、豊橋の活性化に寄与することができると同時に、ロータリーの大家である佐藤千寿さんのロータリー観を実践したいという強い思いから協力することにしました。

佐藤千寿さんのロータリー観は「本当に人生を生きるとはどういうことなのか」を考えると、多くの人が血道をあげている事業の成功とか金銭とかは、人生の手段であるのに、人間はつい与えられた有限である生命をより良く生きるという本来の目的を見失うものである。ロータリアンは一日も早くこんな逆立ちの生活から脱却して人生の勝者になるためにロータリーの精神である「Service Above Self」を実践することが大事であるというものです。

あれから25年間にわたり「100年さきの笑顔のために」を経営理念に掲げ、三遠地域にバスケットボールカルチャーをつくるという気概をもって活動した結果、現在、ブースター会員が5,000名、アカデミー生徒は500人を抱えるチームに成長しました。そして昨年9月末に豊橋市と事業者が多種多様なコンテンツマーケティングを展開する新アリーナ建設の契約を締結したことは心の底から嬉しく思いました。

しかし、その2ヶ月後に行われた市長選で当選した市長が突然新アリーナ建設の中断を発表しました。これはライフワークとしてスポーツと街づくりに従事してきた私の人生の中で最大の岐路になりましたが、全国大会招致当時の理事長を中心に市長の決断は絶対に覆すという強い信念をもって約8ヶ月間にわたり、全国大会を通して得たノウハウと人脈をフルに活用した戦略・戦術を組み立て、それに基づいた活動を展開した結果、7月20日の住民投票で新アリーナ建設の中断を解除することができました。

このような経緯で、私は非常に厳しい人生の岐路から脱却し、豊橋の未来に明るい兆しを生み出し、豊橋の未来を担う青少年に新アリーナをプレゼントできたのは、私の人生で最高の喜びになりました。

最後に11月28日の例会は、住民投票活動のリーダーを務められた豊橋東ロータリークラブの小林佳雄さんの『世の中いつも個対個』をテーマにした卓話例会です。会員の皆様はぜひ、例会に出席して、「住民投票に携わった小林さんの利他の心と個人奉仕活動」を聞いて、『ロータリーの目的は人づくりを通したよりよい地域づくりである』『ロータリークラブは奉仕団体ではない、奉仕を志す人の団体である』というロータリーの基本を学んでいただきたいと思います。ご清聴ありがとうございました。

委員会報告

伊藤眞芳クラブ細則検討プロジェクト委員長



この委員会は当クラブの細則を2026年7月1日から適用する為に組織されました。

メンバーは、副委員長の高井龍雄会員、委員として大須賀憲太会員、本田英司会員、鬼頭秀幸会員、青山泰三会員、村松光会員、酒井正樹会員、そして私、委員長としての伊藤眞芳の8名で活動をしてきました。委員会は、令和7年9月19日、10月3日、10月31日の3回、開催しました。委員会として、次の4つの項目について、改正・追加の項目を報告いたします。

まず、一つ目として、退会防止の為、退会手続として第11条会員選挙の方法・第7節に「退会」の項目を追加しました。内容は、「会員の退会は、特別な理由のない限り、原則12月末または6月末とする。また会員は、原則として12月末退会の場合は遅くとも12月の理事会開催前までに、6月末退会の場合は遅くとも6月の理事会開催前までに退会届を提出しなければならない。」ということです。

二つ目として、出席委員会の削除の件です。出席委員会の任務については、幹事の任務の一つとしても良いという判断のもと次のように改正したいと思います。内容は、以下のとおりです。第9条委員会の任務・第1節クラブ奉仕委員会(b)の出席委員会の項目を削除する一方、第4条理事及び役員の任務・第5節幹事の任務に(i)として、「すべての会員にあらゆるロータリーの会合に出席することを奨励するという任務を遂行すること。あらゆる会合には、地区大会、インターシティ・ミーティング、地域大会および国際大会への出席も含まれる。そして、本クラブの例会への出席と、本クラブ例会に出席できない場合の他クラブ例会への出席とを奨励し、全会員にロータリーの出席意義と出席規定を周知せしめ、出席を良くするためのより良き奨励策を講じ、そして出席不良の原因となる諸事情を確かめてこれを除去することに努めるという任務を遂行すること。」を追加することにしました。

三つ目として、RIが提唱している「公共イメージ向上委員会」の名称及び内容は、我がクラブの「広報委員会」と類似しているため、そのように改正したいと思います。つまり、第8条委員会・第2節クラブ奉仕委員会(c)6.広報委員会を「公共イメージ向上委員会」に改正し、第9条委員会の任務・第1節クラブ奉仕委員会(f)として「この委員会は、ロータリーに関する情報を一般の人々及び地域社会に発信し、公共イメージの向上を図ることを使命とする。」と改正することにしました。

四つ目として、第9条委員会の任務・第1節クラブ奉仕委員会(h)の会員増強委員会の内容を現況に合わせるため、内容を少し改正することにしました。内容は次のとおりです。「この委員会は、原則として1業1会員制に基づき、本クラブの充填未充填職業分類表を検討し、未充填の職業分類を充填するため良質な人物を推薦するよう、会員に積極的に働きかけるようにするという任務を遂行することを使命とする。」

以上の内容を報告します。よろしくお願いします。

ロータリー財団担当例会 ーロータリー財団を学び活用しようー



西郷隆治ロータリー財団委員長

国際ロータリーとロータリー財団の関係性について



まず初めに、国際ロータリー(RI)とロータリー財団の関係性について説明します。

国際ロータリーは、皆さまからの陣頭分担金で運営していますが、

ロータリー財団は、皆さまからの寄付のみで運営・活動をしています。

自分たちが拠出したお金で、運営し、世界中で奉仕活動を行っています。

ロータリーとロータリー財団の資金の違い

【国際ロータリー】

2023-24年度の人頭分担金額 75ドル 120万人で9,000万ドル 約134億円

2024-25年度の人頭分担金額 78.5ドル

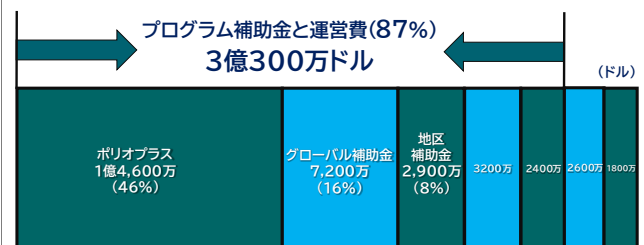
2025-26年度の人頭分担金額 82ドル

【ロータリー財団】

2025-26年度寄付目標(世界)

- ・年次基金：1億5,000万ドル
- ・ポリオプラス基金：1億5,000万ドル(ゲイツ財団からの上乗せ含む)
- ・恒久基金：1億4,000万ドル(2025年までに20億2,500万ドル)
- ・その他の現金寄付：6,000万ドル(GGへの現金拠出等)

2023-24ロータリー財団支出：3億4,700万ドル



まずは、皆様からお預かりする寄付金が、具体的どのように運用されているか説明致します。

こちらは23-24年度のロータリー財団の支出状況です。3億4700万ドル、約500億円もの寄付を集め、その約9割が、ポリオ根絶のためや、地区補助金、グローバル補助金など様々なプログラムとその運営費に使われています。

寄付種類	① 年次基金
	② ポリオプラス
	③ 恒久基金
	④ その他の基金

次に、寄付の種類についてです。

まずは年次基金、こちらは3年間投資されその収益は、財団の運営に活用されます。

そして元金は、3年を経て、地区補助金やグローバル補助金などに利用されます。

ポリオプラスは、ポリオ根絶活動を主に支援しています。恒久基金は、寄付いただいた元本は利用せず、その運用益のみ利用します。

国際財団活動資金やロータリー平和センターなどに活用されています。

その他の基金として、ロータリー災害救援基金は、災害救済や復興に利用されます。

また、冠名基金など使途を指定、例えば平和センターなどに指定した指定寄付を受け作られる基金などがあります。

2025-26年度財団地区目標		
① 年次基金 寄付	お一人 あたり	\$150以上
② ポリオプラス 寄付	お一人 あたり	\$30以上

こちらは、全てのロータリアンにお願いしている2種類の寄付です。

年次基金寄付 お一人 150 ドル 23,100 円
ポリオプラス寄付 お一人 30 ドル 4,620 円

2025-26年度財団地区目標		
③ 恒久基金 寄付	1クラブ あたり	\$1,000以上

\$20億2,500万



恒久基金は、元金は活用せず、運用益のみを奉仕事業に充てています。

1クラブ当たり 1,000 ドル以上を目標にしております。

ポリオの現状

ポリオの世界的な症例数は1988年以降99.9%に減少

		2025年 1/1~8/25	2024年	2023年	2022年	2021年
常在国	パキスタン	21	74	6	20	1
	アフガニスタン	3	25	6	2	4
非常任国	モザンビーク	0	0	0	8	0
	マウライ	0	0	0	0	1
世界合計		24	99	12	30	6

ポリオの世界的な症例数は1988年以降99.9%に減少しています。

2025年1月1日から8月25日現在の報告されている症例数はパキスタンで21名、アフガニスタンで3名で合計24名になります。

2024年は99名まで症例数が増えました、紛争地域での情勢が悪化し予防接種が十分に行われなかったのも一因にあると考えられます。

2024年、ロータリーはポリオ予防接種キャンペーンを2024年9月にガザ地区で約56万人の子供たちにワクチンを投与し、10月24日には10歳未満の子供に新型経口ワクチンを投与し、同時にビタミンAも提供しました。

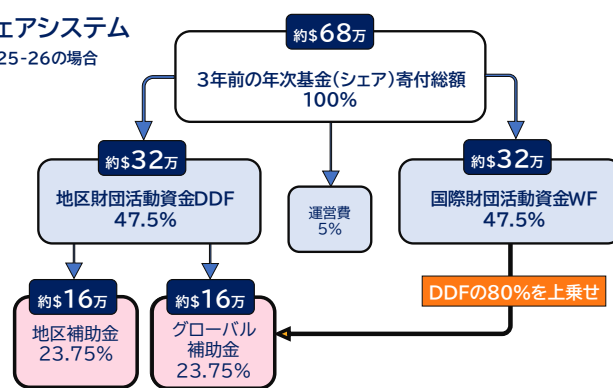
寄付分類	① 年次基金の元金
	② ポリオプラス
	③ 恒久基金の運用益
	④ その他の基金

続いて、「補助金活用による奉仕事業実施のお願い」です。

補助金として活用できる皆様からの寄付金は、年次基金の元金と、恒久基金の運用益です。

シェアシステム

2025-26の場合



ロータリー財団への寄付は、シェアシステムにより、人道的プロジェクト・奨学金・職業研修チームの活動を支える補助金として分配されます。

3年前の年次基金寄付の元金を100%とします。

5%を運営費に充て、残りの95%の半分47.5%ずつが、地区財団活動資金(DDF)と国際財団活動資金(WF)に分けられます。

ここに、3年前の恒久基金の運用益が加わります。

地区財団活動資金は、地区の裁量で使途を決めることが出来ます。

国際財団活動資金は、世界中の奉仕活動を支えるための財源となります。

地区財団活動資金の半分23.75%ずつが、地区補助金財源とグローバル補助金の財源となります。

国際財団活動資金が、私たちが使えないわけではなく、グローバル補助金の80%の上乗せがあります。

また、自分たちでは、直接的には奉仕活動ができない、遠い国や地域での活動に充てられます。

最も、身近な「地区補助金」についてです。

地区補助金について

- 地元や海外で行う小規模で、短期の活動
- 様々な分野で活用可能
- 多くのロータリアンが汗を流す活動

に活用できます。



グローバル補助金についてです。

グローバル補助金について

- 海外クラブとのマッチングが必要
- 7つの重点分野に関する事業
- 30,000ドル以上の事業

に活用できます。

2760 地区には、3 つの奨学金制度があります。

奨学金制度の種類について

- ①グローバル補助金奨学生
- ②平和フェロー
- ③地区補助金奨学生

①グローバル補助金奨学生について

- 7つの重点分野に該当する専攻課程
- 海外の大学院への留学
- 1～2年間の留学期間
- 申請時に、2760地区内に居住・
もしくは本籍地があるなど、資格条件あり
- 3万米ドル以上の返済不要の奨学金

ご覧のとおり、グローバル補助金奨学生について
こちらは、海外の大学院へ留学を希望し、ロータリーの
重点7分野に関連した研究分野を専攻して
留学後にその仕事に従事する意思を持った方に「返済不
要」の奨学金を支給するプログラムです。

その【応募要件】としましては、

- ① 愛知県に「本籍」or「現住所」があること
- ② 海外の大学院に進学希望で、入学許可が取得できる
こと
- ③ 語学能力 があること
- ④ ロータリーの重点7分野に合致する専攻分野で、修

★ニコボックス

神谷 馨・高橋哲也：西郷ロータリー財団委員長本
日はよろしくお祝い。
井上 穂・高瀬啓輔：誕生日をお祝い頂き。
太田和彦：入会記念日をお祝い頂き。
福沢省吾・白井正樹：会員スピーチをさせて頂き。
西郷隆治：ロータリー財団の例会ですが、白内障と
乱視が進行し、高橋幹事に原稿を代読し
て頂きますのでよろしくお願い。

★幹事報告

- ・ロータリー財団月間リソースのご案内が届いてお
ります。

了後その分野での就職を希望 していること

⑤ロータリーとの関係を保つ意思があること

以上が整っていることを前提として「書類選考」と「面
接選考」により毎年若干名を選考します。

②平和フェローについて

毎年
最高130名の平和フェローが選出

修士号プログラム

- 若いプロフェッショナルが対象
- 毎年、最高50名(各センターで10名ずつ)
- 15～24カ月間

専門修了証プログラム

- 経験豊かなプロフェッショナルが対象
- 毎年、最高50名(年2回のセッションで、それぞれ25名ずつ)
- 3カ月間



次に「平和フェロー」です。

修士号プログラムと、専門修了証プログラムがございま
す。

3年間の実務経験のある方という条件があります。
世界平和と紛争予防の担い手を育て、平和推進者の世界的
ネットワークを築くためのプログラムです。
2002年の創設以来、1,400名のフェローを輩出、
国連・世界銀行・NGO・政府機関などで活躍していま
す。

海外の大学院で、ロータリーの重点分野
以外に該当する分野を専攻する方を
対象とした 返済不要の奨学金 を給付
する 新設 プログラム。



今年度から新たに、地区補助金奨学生制度を設けました。
この奨学生制度は、

1～2年間海外の大学院修士課程へ留学を希望し、
ロータリーの重点7分野「以外」に
関連した研究分野を専攻して

留学後にその仕事に従事する意志を持った方に
「返済不要」の奨学金を支給する新設プログラムです。

伊藤眞芳・大須賀憲太・
高井龍雄・鬼頭秀幸・
青山泰三・村松 光・

酒井正樹：クラブ細則改正(案)の報告をさせ
て頂き。

山口幹夫：例会参加の支援に感謝します。

金子通信：母 西川鯉廣(金子睦子)の葬儀に際しご多用
の中、ご会葬賜りありがとうございました。

中村彰宏ニコボックス委員

★他クラブの例会変更

- 11月18日(火) 宝 飯RC 会場都合のため
- 11月19日(水) 豊橋東RC 地区補助金事業
- 11月20日(木) 豊 橋RC T E C 報告会
- 11月25日(火) 豊橋北RC クラブフォーラム
- 11月26日(水) 豊橋東RC 創立30周年記念事業